

『東京にも旭川にも 新しい架け橋の風』

Vol.38

第41回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2017年10月28日（土）午後5時より、ハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席者は会員111名、来賓・協賛関係17名、合計128名でした。



▲今回から総会・懇親会も併せて、従来の看板からプロジェクターを使つての投影方式に

日時／平成29年10月28日（土）17時～20時 総会・懇親会会場／ハイアットリージェンシー東京 地下1階『桃山』東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL 03-3334-1234

総会では、平成28年の事業報告・

■第41回総会・懇親会を開催しました。



第38号：平成30年（2018）3月28日発行
発行：東京旭川会 〒247-0035
神奈川県横浜市栄区桂台西1丁目23-1（山崎正之）
TEL/FAX：045-891-3949
編集：東京旭川会広報チーム



決算報告、会計監査、平成29年の事業計画・予算が承認されました。引き続き『旭川の現実（いま）をもっと知る』というテーマでパネルディスカッションを実施しました。パネリストは、西川将人旭川市長、旭川中央ハイヤー（株）執行役員事業部長柏葉美香さん、（株）ササキ工芸代表取締役社長佐々木雄二郎さん、アクサダイレクト生命保険（株）代表取締役社長斎藤英明さんで、それぞれの思いを語っていただきました。懇親会に先立ち、西川市長から会長の加藤桂子さんへ旭川観光大使委嘱状授与式が行われました。懇親会



▲旭川市議会杉山副議長の発声による乾杯（旭川の蔵元3社の地酒）で、新しい企画も盛り込まれた第41回の懇親会がスタートしました。

では、旭川市議会杉山副議長はじめ、旭川観光大使の皆さん、協賛企業他来賓の皆様を含めて約130名の方々の参加を得ました。今回から若い方が参加しやすいように40歳未満の方の懇親会費を平額にするなど工夫をしました。「私（達）こんな活動をしています。」コーナーを設け壇上から若手を中心とした旭川出身者の中から4組の方々（門馬瑠依さん、井上賢さん、山田大生さんと潮洋平さん、小林良正さん）が発表され、掲示板には多くの旭川出身者の活動の一部が報告されました。また旭川市のアンテナショップの即売

コーナー、郷土料理コーナーやラーメンコーナーを設営しました。恒例の大抽選会など大いに楽しんでいただき盛況の内に終了することができました。

〈会長挨拶〉



会長をお引き受けしまして丁度一年、30年以上もの長きに亘り東京旭川会と

共に歩んできた私の使命は、三つあると考えています。一つ目は、世代を超えて愛される旭川会を目指すことです。今回、若い世代が自らの活動をアピールする場を作り、又、懇親会費も少し優遇しています。これからも幅広い世代に支持される東京旭川会を目指し努力して参ります。二つ目は、会員の方が「私達の旭川会」と感じられる運営を目指すことです。今回も、「故郷旭川の現実（いま）をもっと知る」とのテーマでパネルディスカッションを行います。故郷の厳しい現実を知り、故郷旭川に思いを馳せ、エールを送るという試みです。積極的にご参加頂き、旭川を故郷に持つ喜びを感じて頂きます。三つ目は、私自身が育んできた旭川に対する強い愛情を次の世代に伝えることです。東京旭川会の歩みも様々な変遷を経て今日があります。その折々に小さな努力を重ねてまいりましたが、故郷を思う心は、私達に勇気を与え、人に対する愛情を育んでくれたと思います。皆様と共に、一層魅力ある東京旭川会を築いてまいりたく、今日一日、故郷を満喫頂くことをお願いし、挨拶と致します。

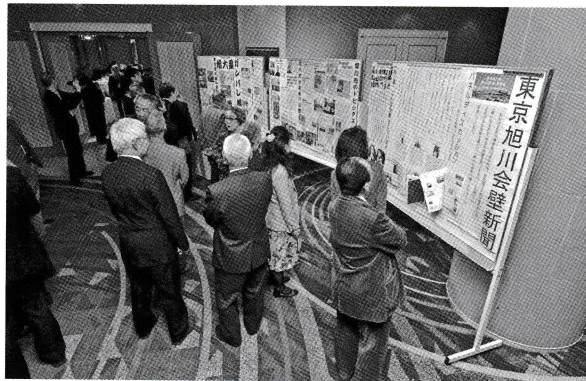
（東京旭川会会長 加藤桂子）

第41回 総会・懇親会 世代を超えて広がる笑顔

東京と旭川をつなぐ
架け橋役担う東京旭川会

今回の総会・パネルディスカッションでは地方における高齢化社会の「現実」、地方から東京に打って出る「希望」、東京の経済資源を地方でインキュベーションできる「可能性」と、二つの立ち位置で郷土の現実を知ることができました。また、西川市長のお話からは、それを迎え入れる旭川市の体制としての市役所の建て替え、旭川空港の新たな国際線ターミナルビルの建設等と、世界まで視野に入れることができる「未来」が描けた思いもしました。それをこれから担うのは若い世代で

す。今回の懇親会の試みとして、若い人にも参加しやすく、また、同年代の人の旭川・東京・世界での活動もお伝えできたことで、初参加の若い世代だけではなく、東京旭川会の多くを占めるシニア世代の方にも刺激のあった懇親会だったのではないかと思います。そして、これまでの懇親会でのお馴染みの数々のコーナーの他に、今回は4テーブルに分けた「立ち呑みコーナー」も新たに用意しました。着席テーブルでの談笑の後はこちらに場を変えて、より多くの方と同窓・世代間を越えた交流ができました。次回も多くの人に参加して頂けたらと思います。



▶開場前はロビーで、懇親会の最中は会場内立ち呑みコーナー側で、壁新聞が今回も旭川会の宣伝役を。



▶前回に続いて総会・懇親会では丸テーブルでの完全着席方式に。



▶西川市長から加藤会長への旭川観光大使委嘱状授与式



▲杉山允孝旭川市議会副議長



▲西川将人旭川市長



▲加藤桂子東京旭川会会長



▲昨年の9月以降に東京旭川会に入会し、今回の総会・懇親会に初めて参加した若手を中心とした10名が紹介されました！



▶昨年9月に井上靖記念館(旭川市)で開催された井上靖生誕110年記念文学講演会「父と私」の壁新聞の記事を掲げる長女でもあり井上靖記念文化財団専務理事でもある浦城幾世さん。



▲新たに設けられた立ち呑みコーナー。交流と親睦がさらに深まりました！

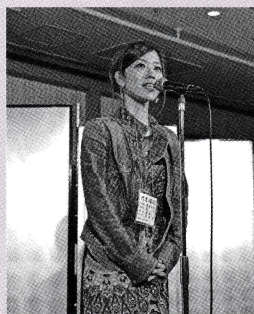


▲展示コーナーでは門馬瑠依さんのCDもお求めできます。



▲市長と気軽に話せるのも懇親会の魅力です。

私(達)こんな活動をしています！



▲先ず門馬瑠依さんがボーカルも披露して自己紹介を。



▲自身も朝チア活動中の朝妻久実さんのMCで活動が紹介されました。



▲元銀行マンのオペラ歌手。井上賢さんも若手に負けていません。

「ふるさと旭川は多くの才能を育み、その才能達は、日本中に、いや世界中に羽ばたかんとしています。彼らの活躍は、故郷から多くのエールをもらい、又 故郷の若者に大きな勇気を与えています。色々なことに挑戦されている方がいること、その活動を知ることが、皆さんが勇気を貰い、ふるさと旭川にエールを送ることにつながるのではないのでしょうか。」そんな、旭川出身の司会者朝妻久美さんのアナウンスに乗り、地元出身で音楽・スポーツで活躍されている方、故郷と東京との経済人交流で双方の活性化に挑戦している方、4組が紹介されました。最初に鷹栖町出身の門馬瑠依さん（東高51期）。20歳で活動開始し23歳で上京後、ジャズを中心に様々なジャンルのプレイヤーと共演。ボーカリストに加え演奏家、楽曲制作者、講師としても国内・海外で幅広く活動しています。二人目は銀行マンを経て趣味の音楽が高じてオペラ歌手になった旭川出身の井上賢さん（東高20



▲2020年に向けて世界に空手道の普及を！ 小林良正さん。



▲東京の潮洋平さん(左)と旭川の山田大生さん(右)の東京旭川若手経済人会発起人コンビ。

期)。最近ではプロ歌手として多くのステージに立っています。続いて「東京旭川若手経済人会」発起人から潮洋平さんと山田大生さん。前回の東京旭川会の総会での出会いがきっかけになりました。最後は東栄高校（現在、永嶺高校）卒業の小林良正さん。スポーツ特待生として帝京大に進み、平成20年に同校卒業後は空手選手を経て、空手指導者として青少年の育成に務めています。



▲若手経済人会、潮洋平さんも賞品をゲット！



▲郷土の食材が活かされたトマトジュース、コーンスープにササキ工芸さんのメガネケースもセットで賞品に。

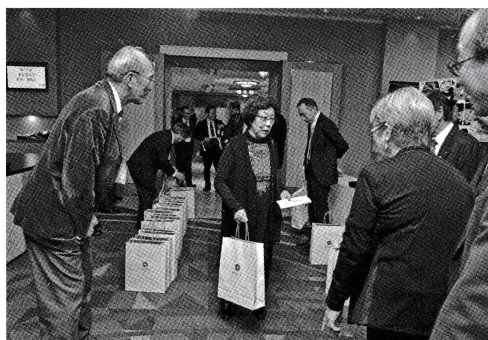


▲お待たせしました。皆さんお待ちかねの大抽選会スタート！

大抽選会



▲今年も盛況に終了。受付担当の皆様、ご苦労様でした！



▲あっという間の3時間。皆さん、お土産に思い出も重ねて帰路に。



▲これが無くては旭川会ではありません。恒例の旭川ラーメンコーナー。

パネル
ディスカッション

旭川の良いつら



司会…早速始めます。先ずご自身のお仕事を通して旭川の良いつらをお聞かせください。トップは、東京にお住まいで月に一回は旭川に行かれているアサダイレクト生命の齊藤さんからお伺いします。

齊藤…私も、インターネットで保険を売っています。



▲斎藤秀明さん

●人材の質が高いという点です。高等教育機関があり、有能な方が多く、優秀な人が応募してきます。

●旭川は、訛りが無いのでコールセンタリーに好都合です。

●行政のサポートが厚く、本気でやろうという意気込みは熱い。

●人件費が比較的安いということ。

●空港の就航率が高いので、立地を旭川にする必然性があります。



▲カスタマーサービスセンター

司会…有難うございます。印象に残る北海道弁は…？

齊藤…「イスイ」って分らなかったですね。「お早ようございました」も…何で過去形なのしょうか？



▲佐々木雄二郎さん

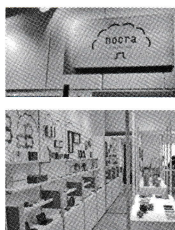
司会…有難うございました。続きまして、最近、東京に来る回数も多いササキ工芸の佐々木さんをお願いいたします。

『旭川の現実(いま)をもっと知る』

ています。当社は木製の小物づくりをメインにしている会社です。

●先ず旭川空港があることが強みです。殆ど道外のお客様のお相手をしているので、物流面、人の面で地元空港があることで何かあった時にもすぐ飛んで行けること、世界に向けて玄関口があることは大きなメリットです。

●旭川が世界各地からの木材の集積地で、当社は木材で困ることはありません。家具屋さんや木製の小物作りを目指す若者が今集まりつつあり、木材関係の設備や資材が充実しているのも旭川のメリットです。



▲2K540内の直営店「ノクラ」

●自然災害、地震がないのが旭川の特徴です。私たちは地震で困ったことはありません。

司会…有難うございました。我々が小さい時から木製品の街という感じがしたので、ピーク時と比べ今はどんな感じですか？

佐々木…もともと旭川家具の商材は「婚礼筆筒」で人気がありました。今は、住宅事情の変化もあり、大きく変わりました。もともと筆筒専門メーカーは無く、現在残っている家具メーカーはテーブルやイスなど「脚もの」を作っています。おそろく5分の1から6分の1まで規模が小さくなった。家具の工房さんも減ったけれど、しかし最近では増え始め、私共が所属している家具工業協同組合は一時期三十数社まで減少したが、今は四十三社まで増えています。少しずつ盛り返していると感じています。

司会…有難うございます。皆さんに分け隔てなくある介護の分野の第一人者、現在、現場で活躍されている柏葉さん

をお願いいたします。

柏葉…中央ケアサポーターの柏葉と申します。よろしくお願ひします。私は、



▲柏葉美香さん

高齢者の方の訪問介護、ヘルパーサービスを中心に事業を行っています。

●旭川の良いつらは「丁度良く都会で丁度良く田舎」ということです。人と人の距離が遠すぎず、近すぎず、丁度良い距離感で生活できています。

●旭川は訪問介護だけで2百ヶ所以上あります。デイサービスなど各種のサービスがあり、利用者さんが選ぶことができます。競争原理が働くので事業者にとっても利用者さんにとっても丁度良い規模です。

●旭川の人は、皆さん一生懸命に規則通りにサービスします。中核都市として市役所に実地指導監督課ができて、監督に来て頂きます。市役所の方も真面目に見てくれるので、そのあたりも市長さんにお伝えし、程々にお願ひしたいと思っています。(笑)

司会…医療の分野では、北は旭川が中心に行うという構想があります。介護事業では、小さな集落を旭川に引き入れるという発想はないのでしょうか？

柏葉…どうでしょう。ただ、自ら進んで自宅を離れ施設に入りたいと言う方は一人もいません。冬の過酷な状況でも、皆さんお家に居たいという希望がある中で、「こういふところに集まってヨ。」と言うのは、多分、国はそういう構想でしょうが、なかなか希望がおりにはいかない。

司会…有難うございます。西川市長のお立場で旭川市を、例えば企業を誘致する時にこれは「ウチの売り」というポイントでお話し頂けますか。

西川…今日はよろしくお願ひします。今、皆さんからお話がありました。特に齊藤社長さんのお話はなるほどと思いました。私が何時もPRさせて頂いていることは、…



▲西川将人市長

●地震が無く自然災害が少ないこと。

●旭川空港がすぐそばにあって、空港から市街まで三十分くらいで到着します。就航率も99%を超えていて殆ど欠航することはありません。

●豊かな農村地帯が広がり、流通の拠点なので、内陸ながら魚類も豊富で食品関係の企業や東京から旭川に赴任される方にも楽しんで頂ける街です。

アピールポイント

司会…有難うございます。で自分で旭川をアピールするポイントを三つ位あげて頂きたいのですが、佐々木さんからお願ひできますか。

佐々木…旭川医科大学があることです。旭川は今35万の人口の割には病院や医療関係施設が多い。医療が充実しています。

●私たちは普通の料理と思っていますが、多くの人はこんな美味しいもの食べられる！こんな大きな魚が食べられる！と驚いてくれます。

●旭川は車で三十分で殆どどこに行ける。旭川の面積は7百平方キロメートル位で、東京23区は6百80平方キロメートルでほぼ変わらない。交通渋滞を考えると旭川の方が動きやすい程よく人が集まって、程よく自然があります。

司会…有難うございました。続いて柏葉さん如何ですか？

柏葉…私も同じことを考えてきました。加えて、旭川市は住宅型有料老人ホームが多く、全部含めると殆ど2の要介護の方がどこかには入れるベッド数があります。

パネリストのご紹介

柏葉美香(かしわば・みか)さん

旭川中央ハイヤー(株)

介護事業部旭川中央ケアサポート(執行役員事業部長)

1962年8月生まれ、1981年旭川大学短期大学部幼児教育学科卒業後、保育士となるも障害者・老人介護に興味を持ち、旭川市内福祉村にある障害者施設に勤務。7年間の在職中、介護福祉士資格取得するも出産と育児のため、退職。その後夫の転勤に同行する中、2男1女を出産。平成15年に夫が介護事業所を立ち上げることに関わり、2008年に介護事業管理者を拝命、その後先進介護を積極的に実施し、道北唯一の夜間対応型訪問介護事業や旭川市内唯一の定期巡回・随時対応型訪問介護・看護事業を立ち上げ、2014年7月には旭川市東光にあった雇用促進住宅跡地に、サービス付き高齢者向け住宅「かりのすまい東光」をオープンし現在に至っている。夫は現旭川中央ハイヤー(株)社長。公職は北海道ホームヘルプサービス協議会上川地区幹事。旭川市ヘルパー連絡会副会長。

佐々木雄二郎(ささき・ゆうじろう)さん
株式会社ササキ工芸(代表取締役社長)

1974年旭川生まれ、小学校1年から柔道を始め高校卒業まで柔道一筋。大学卒業後カナダ・アメリカで留学・就労(5年間)を経験し、2002年帰国しササキ工芸に入社。2011年創業佐々木雄二郎氏の急死に伴い三代目代表取締役就任。ササキ工芸は、もともと木工家具製造の下請けとして始まったとのこと、筆筒の木製の取手などを作っていたが、徐々に家具屋さんが減り、今のような木製クラフトの製造販売を行うようになった。全国400の小売店さんを通して販売して

司会…有難うございます。斉藤さん如何ですか？

斉藤…柏葉さんと佐々木さんが仰ったことかぶるのですが、

●特に私は旭川出身でないのだから見ると際立って「美味しいな」「空港に下りた途端に「空気が美味しいな」と思います。水も、水道を引く張れば美味しい。ただ皆さんそれに慣れて水道水は飲まないの仕方み水を取りに行きます。水が美味しいので、酒、豆腐もコーヒも、何を食べても美味しい。●他所からきた人に対してオープンです。我々から見るとすごく気持ちが良い。

●コンパクトシティだということでもとまっているというのがありがたいです。

●旭山動物園は、私は日本一の動物園だと思います。これは皆さんに有名なのですけれど、職員の方の意気込みが素晴らしい。ただ、スミマセン、あれしかないという言い方もあります。

司会…有難うございます。どなたかゲストやお友達が旭川にきたときに薦める特定のお店はありますか？

佐々木…はい、いろいろとお店はあるのですけれど全国的なチェーン店は別にして、地元の居酒屋さんなら皆さん切磋琢磨していますので、どこに入っても美味しいと思います。お客様をお連れするなら「町家」とか、成吉思汗の「大黒屋」さんがお薦めだと思います。もっとたくさんあるのですが、今パッと出てきません。

司会…柏葉さんは何処にありますか？

柏葉…お薦めのお店というよりは、お酒の帰りに昔は「メのラーメン」だったのが「メパフェ」というのが流行っています。パフェのお店がたくさんできています。それからお店でないのですが動物園の「カバ舎」がお薦めです。カバがスゴイ良いです。

斉藤…今、パフェで思い出しました。旭川はソフトクリームのお店が多いですね。普通に男の人がソフトクリームを食べながら歩いている。東京の感覚

では不思議です。

司会…西川市長、どこか個人的にお薦めのお店があれば…

西川…立場的に、特定のお店をご紹介するのは、勘弁してください。

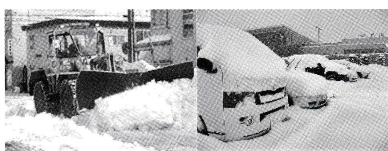
司会…スミマセン。他に付け加えるポイントがあれば…

西川…皆さま、いろいろ言って頂きました。それ以外のことについて、冬になりますが雪ですね。旭川にもスキー場がたくさんあり、旭岳でスキーを滑っているが粉雪でむせかえるような中で滑ることになります。どんどんPRしてゆきたい。

改善して欲しい点

司会…有難うございます。今後はこのように改善して貰いたいというご意見があればお伺いします。柏葉さんお願いします。

柏葉…雪はすごく障害になっています。



▲旭川市内の積雪と除雪

●私たちは一軒一軒のお家を訪問します。冬は夏場の倍ぐらい時間が掛かります。どうしても車が思うように走れない。夏の間は何かかなりありますが、冬は除雪ができなかったり、お出かけができなくなったり、こういう事で今年の冬は越せないからどこかに入ろうということになります。サポートする側も高齢化していて、雪の問題は、毎年頭が痛いです。

●街の中の駐車スペースが無くて困っています。同じように訪問看護師や訪問診療の先生も急に呼ばれて命にかかわる場合もあります。ここだったら停めて良いという場所を確保して頂けたら良いです。

司会…有難うございます。西川市長、雪には楽しい面と今のような問題がありますが…

西川…今、柏葉さんからご指摘のとおりですね。

●冬は街の中は除雪が大事です。旭川市は市道の除雪費用を大体年間二十六億円計上しています。少しでも有効に運用できるようにしたいと思っています。

●駐車スペースは、警察とも相談しながらやってはいますが、まだまだ解決策は見出していません。できることからしつかりやっていこうと考えています。

司会…有難うございました。続きまして、佐々木さんお願いします。

佐々木…経営者だから思うのかも知れないですが、

●主な行政の施設、市だけではなく国や道の施設が一カ所に集まると有り難い。現在は、建物が、それぞれ分散しているの、なかなか難しいと思いますが将来的にはいろいろな手続きが一カ所でできるというのが理想です。

●コンベンションができる施設。5千人とか1万人規模で入れるようなコンベンション施設があったら、旭川が国内だけではなくて海外からも、もっと人が集まれる場所になると思います。

●買物公園で一条から六条七条までアーケードができる雪が降っても雨が降っても人の交流ができ、そうすると年配の方が旭川の中心部に住んでも歩いて行きやすくなる。何れも直ぐにはできないとは思いますが、今後実現して頂けると有り難い。



▲買物公園

司会…有難うございます。かな未来構想ですが、西川市長、どうですか？

西川…私が市長をやっている間にできるかどうか分かりませんが…

●行政機関は、市役所は、現庁舎の隣の敷地に建て替える計画が進んでいます。長いスパンになりますが、今伺ったことは尤もだと思いますので、これか

ら何か新しい建物を立て替えたりする場合は、いろいろな機関と連携して進めていくことは、非常に重要だと思います。

●コンベンション施設も、今後議会の皆さんと相談して、文化会館の建替えまたは改修などいろいろなことがでてるので頑張っていきたい。

●アーケードは、今、駅前から一条までキャロビーという屋根を付けてはいますが、地下道のお話もあります。雪や雨風をしのぐには有効だと思います。

司会…有難うございます。それでは最後になりますが、斉藤さん、ご意見をお願いします。

斉藤…仕事では特に困っていないのですが、余計なお世話かもしれないが、いくつかあげますと…

●先ずブランド力では、経済規模・人口規模の割に旭川は北海道という中で低いと思います。旭川が東京の人に知られていないのは残念です。多くの人は「旭山動物園」でなくて「旭川動物園」と思っていて、旭川に動物園があつて有名だけれど、それ以外はないと言われることが勿体ないと思います。

●公共交通機関は、飛行機便はもっと増えたら良いと思う。バスは不便だと思います。大変失礼な言い方になりますが、バス事業者が二つあるが、他と比べるとやる気ないという感じでサービス精神というのがない。もし関係者の方がいたらごめんなさい。ちょっと頂けないなと思います。

●ブランド力と関係するが例えば「グレート旭川」みたいな感じですね。「グレートウシントン」とか「グレートパリ」とか「グレートロンドン」というようにユニークなモノの組合せで、まさに東京での企業誘致は旭川地域ということで東川・東神楽・鷹栖のトップがやっていますが、そういう有機的な連携ができるとブランド力が強力になります。

司会…有難うございます。西川市長、如何でしょうか？

(次頁に続く)

いるが、2011年東京に直販店NOCRAをオープンしエンドユーザーのニーズをつかむ努力もしている。世界の人々が「喜び」「感動」「安らぎ」を感じるモノづくりを理念に社員と一丸となって、日々頑張っています。旭川家具工業組合副理事長・旭川木のモノ組合役員の公職を通して地元発展にも情熱を傾けています。

斎藤英明(さいとう ひであき)さん
アサダイレクト生命保険株式会社
(代表取締役社長)

1963年東京都生まれ(育ったのは埼玉県)。幼少時より鉄道好きで大学時代に北海道周遊券でいわゆるカニ族をしたのが、北海道との最初の出会い。1986年東京大学を卒業後農林中央金庫に入社。米国シリコンバレーにあるスタンフォード大学ビジネス・スクール留学を機にキャリアを考えるマインドが高まり、1998年にボストン・コンサルティング・グループに入社。その後米系のIT会社(シスコシステムズ)専務執行役員を経て、2013年に知人の紹介によりアサダイレクト生命保険代表取締役社長に就任。

ネットで生命保険を売るという新しい試みにチャレンジし近年業績が急成長。顧客サービスの向上を目的に2014年、コンタクトセンター・事務センターを旭川市内に設置し、それ以来約2ヶ月に一度のペースで来旭し昨年の夏には移住体験住宅(市内江丹別町)で約1ヶ月過ごした。

【お願い】

実際の皆さんのご発言は、ウィットに富んだ楽しいモノでしたが、紙面の都合で大幅に省略させて頂いたことをご了承ください。

ASAHIYAMAZO 50th ANNIVERSARY 1967-2017

▲旭山動物園50周年を記念して作成されたロゴマーク。旭山動物園のコンセプト「伝えるのは、命」というメッセージを表す動物としてシンリンオオカミをモチーフにデザインされています。

旭山動物園が開園50周年！
行動展示で全国的に有名となった旭山動物園が平成29（2017）年7月1日開園50周年を迎えました。日本最北の動物園として昭和42（1967）年7月1日に開園して以来、動物を通して自然を知り、人間や命を考える場として、市民はもとより、全国からの来園者に親しまれてきました。昨年は記念イベントやグッズの販売等多くの取組みが実施されました。



▲旭川駅周辺に広がるガーデンの景観
旭川市は、旭川動物園のコンセプト「伝えるのは、命」というメッセージを表す動物としてシンリンオオカミをモチーフにデザインされています。

旭川からの話題／旭川出身者の活躍

旭山動物園が開園50周年！

あさひかわ北彩都ガーデンが国際表彰で最優秀賞を受賞！

JR旭川駅南側の「あさひかわ北彩都ガーデン」が国際造園家連盟アジアパシフィック支部主催のランドスケープ・アーキテクチャー賞の文化的かつ都市的な景観部門で最優秀賞を受賞しました。道内では初受賞です。また公園・緑地部門でも奨励賞を受賞しました。審査では自然への強い憧れの喚起する機能と美しさを併せ持ったデザインと、ローチと市民との結びつきが評価されました。

西川：ハイ。有難うございます。
●ブランド力という点では、確かにまだまだだと思います。私共も頑張らないといけない。ブランド力を高めて行くには、旭川から見る大雪山の山脈の風景をもっとPRして、周辺の町村との有機連携をもっとPRしたいと思っています。旭川には都市機能が集積しています。住むには、東川でも東神楽でも一向に変わらない。偶々自治体は別ですが、少なくとも1市8町が運命共同体の思いでいこうと思います。
●公共交通は、実はバスの利用者は毎年3%位ずつ減ってきていると聞いています。バス会社さんも厳しい状況下、ICカードの2社での共通化や、バス運行状況をネットや主要な所に画面で表示するシステムを導入するなどいろいろ頑張っています。斎藤社長さんが言って頂いたことは、それとは違い「おもてなしの気持ち」や「ホスピタリティ」の面で感じられたと思います。

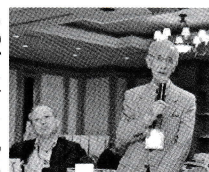


▲宮下さん

旭川の保育士や社会福祉士などの平均在職年数は2年3カ月で辞めていきます。旭川の保育士や社会福祉士などの平均在職年数は2年3カ月で辞めていきます。

会場からの質問・意見

司会：有難うございました。ここで会場の皆さんから、ご意見・質問を頂きたいと思っています。
宮下：私の住む船橋市の場合、保育士は2年3カ月で辞めていきます。旭川の保育士や社会福祉士などの平均在職年数は2年3カ月で辞めていきます。



▲板岡さん

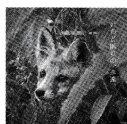
司会：市長、如何ですか？
西川：今、数字を持ち合わせていないので、調べてご連絡させていただきます。
司会：有難うございました。
板岡：旭川に時々参りますが、その度に、我々が育った頃の活気ある旭川のイメージが寂しくなっています。今日は貴重なご意見を頂き、共感するものがたくさんありました。東京では旭川からの発信が目につく機会があります。全国的にアピールすべきものを旭川の地元からもっと発信してもらいたい。行政側も、是非バックアップして頂きたい。
司会：貴重なご意見を有難うございました。

旭川在住の写真家今津秀邦さん



▲俳優津川雅彦さんと（1月5日授賞式で）

動物写真家で旭山動物園のボスターやパンフレットの撮影を担当している今津秀邦さんが、監督として五年の歳月をかけた映画「生きとし生けるもの」が日本映画監督協会のJSC賞を受賞。今津さんは「たいへん名誉なことです。この賞はご支援者、関係者、何より撮らせてくれたいきものたち全員で獲ったもの。この世に存在するヒトも含めた全ての命に捧げます」と感想を寄せられました。



▲映画のボスター。北海道で生きる命の証を刻む作品です。

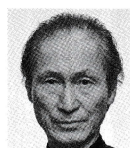
写真甲子園ってご存知ですか

高等学校写真選手権のごとで全国の写真部などを対象に3名一組の団体戦で行われる写真大会です。昨年は全国11ブロックの参加526校を勝ち抜いた18校が7月24日から6泊7日で、東川町に集結し行われました。東川町や旭川市及び大雪山国立公園一帯のフィールドを舞台に、全校同一条件の下、撮影を行い全国一を目指しました。また、この取組みが「写真甲子園0.5秒の夏」として映画化されました。



▲写真甲子園の映画のボスター。公式ホームページより引用

俳優の品川徹さん（御年82歳）は旭川の出身です



▲品川徹さん「いたします」とのメッセージを頂きました。応援しましょう。

舞台、映画、テレビ等で幅広く活躍。数多くの作品に出演しています。当たり役は2003年『白い巨塔』の大河内教授役。2014年『野のなななか』で日本映画プロフェッショナル大賞・特別賞を、2015年『龍三と七人の子分たち』で東京スポーツ映画大賞・助演男優賞を受賞。昨年話題の「やすらぎの郷」でも存在感を出していました。最新作は毎日映画賞受賞の『花筐HANAGATAMI』。品川さんからは「旭川市出身の方にお知らせいただけるのはうれしいです。よろしく願いいたします」とのメッセージを頂きました。応援しましょう。

樋口：介護に関して二点質問します。
●もし私が老後、東京から旭川に移住するとしたら、介護施設に関して留意する点は何ですか？
●介護の仕事は非常に大変だと思いますが、人材の確保にどのような努力をされていますか？
柏葉：お答えします。
●是非足を運んでご自分の目で見ることをお勧めします。日中と夜間両方。明るい時の感じと暗い時の感じは違う。建物の雰囲気とかあるいは職員の感じとか、そういったものを是非確認されると良い。
●職員の確保については、非常に苦戦しています。ウチだけではなくて日本全国ではないかと思えます。地方でも人手が足りない。旭川ももちろん足りない状況です。ウチでは、各種の助成金を使ってヘルパーさんが次の資格にステップアップする応援をしています。

●女性は、人間関係で嫌になることも多いので、そういったものを汲み上げる、困ったところを吸い上げて行く雰囲気づくりをやっています。ウチの事業所に限って言えば、非常に定着率は高く、一方、高齢化もしています。十年後を考えると恐ろしく若い人材にも入ってきて欲しいです。これが今後の課題だと思います。
司会：有難うございました。皆さんのご意見や質問等は尽きないと思いますが、時間の関係もございします。皆さんの各テーブルに、今日ご参加いただいたパネリストの皆さんのパンフレット等が置いてあります。参考にしてください。それから貴重なご意見を頂いた会場の皆さん有難うございました。
これにて、今日のパネルディスカッションを終了させていただきます。（拍手）

三浦綾子記念文学館は、 本年開館20周年を迎えます！

三浦綾子記念文学館では、開館20周年の記念事業の一つとして、同館の隣に分館を建設して、作家三浦綾子の自宅書斎が移設されることが決まりました。綾子さんが口頭で文章を語り、夫の光世さんが書き取る「口述筆記」の書斎として以前から有名です。分館は木造120平方メートルの建物で、本館とは屋根付き通路でつながられる。13畳の書斎を移設し、夫婦で使っていた細やかな生活道具も飾られる。このほか数点の遺品も展示し、代表作『氷点』のコーナーでは、生原稿や執筆に使われたペンの初版本も公開し、三浦文学の文化的価値を継承したいという。9月の



▲書斎で口述筆記を行っている様子

オープンに向け、20周年記念事業費として、市民やファンなど幅広い寄付金を

受け付けています。なお、2022年の三浦綾子生誕100年に向けていろいろな企画を構想中とのこと。東京からも応援しましょう。

旭川南高校3年の池田光咲選手 パワフルフティングで準優勝

昨年8月に行われた全日本高等学校。パワフルフティング選手権大会で



▲市役所に市長を訪ねた際に、中央が池田光咲さん。

池田光咲選手が初出場ながら見事準優勝に輝きました。

旭川工業高校放送局の映像作品が 全国最優秀賞に選ばれました！



▲市長訪問時の旭川工業高校放送局の皆さん

昨年11月16日、全国各地映像団体協議会グランプリ2017の学生部門で見事文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。受賞作『満州避難日記』309日間の逃避行は終戦後の旧満州からの壮絶な引き上げの様子を旭川市在住の方への取材をもとに纏めた作品です。

旭川東高校1年の坂本和奏さん ギターコンクールで最高賞受賞



▲坂本和奏さん

ギターリーダーズクラブが主催する第42回GLC学生ギターコンクールが昨年7月26日、東京の豊洲シックセンターで行われ、高校生の部で坂本さんが優勝し最高位GLC賞も受賞しました。

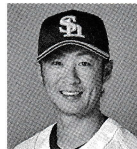
旭川北高校が全国高校総体 アーチェリー女子団体で優勝！



▲旭川北高校女子アーチェリー部の皆さん。輝かしい活躍に対し旭川市から「栄誉をたたえて」が贈呈されました。

昨年8月、福島県郡山で行われた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のアーチェリー女子団体で道内勢28年ぶり二度目の全国優勝を飾りました。三人一組の団体戦を鍛え上げた集中力と強い結束力で戦い抜き頂点を極めました。

福岡ソフトバンクホークス 明石健志選手は忠和小・中学校 出身です！

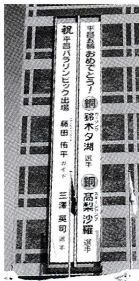


▲2017年から背番号を36から8に変更。レギュラーの座を獲得。写真はソフトバンクホークスオフィシャルサイトより引用。

旭川大雪ウィーンズに所属し中学2年の時には全国優勝、MVPを獲得。その後、山梨学院大学付属高校に進学。卒業時の2003年にドラフト4位でホークスに入団。広角に打ち分けるバットイングと内野ならどこでも守れるという安定した守備が売り物で、昨シーズンのホークス日本一に貢献。シーズン終了後にはFA権行使せずに残留を表明。今年の活躍が大いに期待されます。

平昌オリンピック・ パラリンピックでは、 勇気と感動を有難う！

スキージャンプ女子で日本初の銅メダリストになった高梨沙羅選手、大けがを笑顔で乗り越え、夢に見た金には届かなかったものの全力を尽くしたスノーボード大回転の竹内智香選手、カーリングで笑顔と粘り強いプレーで日本初の銅メダル獲得に貢献した旭川高専出身の鈴木夕湖選手はじめ、旭川ゆかりの9人（オリンピック7名・パラリンピック2名）が参加しました。選手たちの素晴らしい活躍に多くの人々が勇気と感動をもらいました。



▲旭川市役所庁舎に掲げられた懸垂幕

東京旭川会の活動を報告します

東京旭川会では会員相互の懇親を深めることを目的に様々な活動を行っています。今年も郷土訪問の旅などの活動を予定していますので皆様の参加をお待ちしています。お問い合わせは事務局までお願いします。

●目黒川を散策しました

昨年3月24日、東京シティガイドクラブの福田さんの案内で、目黒天空庭園オーパス夢ひろば、目黒川沿い、菅刈公園、など3時間みっちり歩きました。最後に昼食を堪能し充実した一日でした。（参加者14名）



▲散歩の途中で訪問した西郷隆盛の弟、西郷従道の屋敷跡に整備された西郷山公園にて。（鹿兒島の早咲きの桜）。

●JAL整備場を見学してきました

昨年7月12日、予約が取りにくい「JAL整備場見学」を行いました。航空機の歴史や年表、羽田空港の規模などの「基礎知識」を約1時間で得て、ヘルメットを被り整備現場へ。あっという間の2時間でした。



▲東京ドーム3個分の広さの整備場。想像以上に大きな整備中の機体の前にて。たまたま近くに政府専用機も駐機していました。

●秋のゴルフ親睦会を開催しました

11月8日、武蔵O.G.Mゴルフクラブにて開催しました。秋空の紅葉の下、会員相互の親睦を大いに深めることが出来ました。



▲今回は15名の会員の方にご参加頂きました。今年も開催する予定です。ご興味のある方は御連絡ください。開催案内をメールにてお送りします。多数の方のご参加をお待ちしています。

●ローソンアンテナショップを応援

「ローソン新宿イーストサイドスクエア店」（地下鉄東新宿駅A3出口）内に常設の「旭川市アンテナショップ」で開かれているイベントの都度、会員を募って応援に出掛けています。



▲「旭川ラーメン」や地産食材を使用したスイーツ、地元で人気の調味料や特産物、北海道を代表する人気観光地「旭山動物園」の関連商品が買えます。

●今年40周年の北海道ふるさと 会連合会新年交礼会に参加 （1月20日）

40周年記念講演会で高橋はるみ知事が「旭川空港が、厳冬期でも高い就航率（通年99.1%）で香港のキャセイ航空に着目され、北海道の外国からの観光需要喚起に貢献している。」と述べたことに感激しました。



▲40周年記念講演会

